

ユビキタス親子のユビキタスな生活

(最終回)

このコーナーでは、ずいぶんと身近になってきたユビキタスコンピューティングの動向をドラマ形式でご紹介します。登場する人物はすべて架空ですが、登場する技術はすべて実用化済のもの、あるいは実証実験中のものです。

【前回のあらすじ】

神田神保町の古本屋の主人本多一郎さんと息子の翼君は、「ユビキタス未来研究所」の天馬博士の案内のもと、ユビキタスの最先端実験が行われているイネーブル島で様々なユビキタス体験をしています。携帯情報端末での道案内や、お寿司屋さんでの電子タグを使った一括料金精算のほか、利用者に合わせて説明内容が変わる美術館を見学したり、スーパーでは農産物の産地、出荷日、使用農薬などを画面に表示させるシステムを体験したり…。でも、いまだに家の黒電話を変えようとならないお父さんは少し困惑さみ、そんな中二人は博士のお家へと向かいます。

博士 私の車で家までご案内しますよ。

父 これはすばらしい車だ…

近くの駐車場に止まっていた博士の車は最新型のハイブリッド車。車好きのお父さんは博士に頼んで運転させてもらうことにしました。三人はナビの案内に従って博士の家へと向かいます。

博士 渋滞情報が入りましたね。迂回路の案内に従ってください。

*渋滞情報の案内

個々の車からの情報を無線通信でセンター

博士の家は高台にある瀟洒な洋館。博士の奥さんとお母さんが出迎えてくれました。「まずはさっぱりなさいますか？」奥さんに勧められてお父さんはお風呂をいただくことにしました。お父さんがお風呂に入ると備え付けのモニターに「体脂肪率に注意しましょう」と表示されました。

父 何でわかつたんだ？ 気にしていいことが…

*風呂の浴槽にセンサーを組み込んで入浴

に吸い上げ、それを集計して様々な情報を提供することができます。たとえば車の速度データを集めれば特定の場所で渋滞が起きているという情報がたちどころにわかります。マイカーの動作状況を集めれば雨が降っている地域がわかりますし、冬の間部でABS(アンチロックブレーキ)がよく作動している区間があれば路面が凍結していることもわかります。

博士 計器センサー類の情報もすべて集めることができるようになっていきますから、部品や消耗品の交換を適切なタイミングで行うことができます。

博士の車はすべるように走っています。お父さんがいつも運転している古本を運ぶ軽トラックとはだいぶ乗り心地が違つよつです。

博士 どうですか。快適でしょう。

父 ……

お父さんは何も答えません。すると突然アラームが鳴りました。「わああー」お父さんは大声を上げます。博士 本多さん 居眠りしそつになつていましたね。

*運転手の居眠りを検出

ハンドルの動きや、路面を撮影するカメラ画像のぶらつき具合などから運転手の居眠りを検出し、音声やシートの振動などで注意を促します。また、運転手の体温や脈拍などから身体の状態を知ることで、居眠り防止のためにエアコンが冷たい風を出したり、ラジオの音量を上げたり、眠気を覚ます香りを出したりといったアイケアもあります。

翼君は夜中にトイレに行きたくて目が覚めました。でも暗いところが苦手な翼君は真っ暗な廊下に出ることができません。お父さんはいびきをかいて寝ています。

翼 しょうがない、勇気を出して…

翼君が廊下に出ると自動的にライトがつかまりました。

*センサーによる自動認識

家の中にセンサーを取り付ければ人の有無を感知して様々な機器を動作させることができます。例えばベッドから出れば廊下やト

翼 お父さん、しつかり！

父 申し訳ない、あまりにも快適なもの…

翼 ずいぶん前に車椅子のおじいさんがいる。気をつけて！

おじいさんは車椅子を脇に寄せて止まりました。

父 結構離れていたのに気付くと、耳のいいおじいさんだな。

*自動車の接近の通知

自動車の接近を携帯端末に通知することができます。これを利用して障害を持つ方に「後ろから自動車が近づいています」と警告を出すことも可能です。ナンバープレートに無線通信が可能なチップを搭載することで様々な情報をやり取りすることも検討されています。

博士 おや、これは…

翼 どうしたんですか、博士。

博士 家に侵入者の疑いがあるとメーブルが入ったんです。ちよつと確認してみましよう。

博士は送られてきた不審者の画像を確認しました。

博士 大丈夫。ただの野良猫でした。

*住宅設備や家電のネット接続

住宅設備や家電製品をネットワークにつなげば外出先からも操作が可能です。侵入者を検知するとメーブルが届き外から画像を確認できます。外出先から、玄関ドアの施錠や照明やエアコンの操作はもとより、冷蔵庫の中身を確認することもできます。

イレの電灯をつけ、冬ならトイレのヒーターを入れることもできます。こまめなオンオフを自動で行うので省エネも実現することができます。

朝になりました。今日はもうイネーブル島を後にする日です。二人は博士の運転で空港へと向かいました。なごりは尽きませんが博士ともお別れです。博士は手を振って二人を見送ってくれました。空港はたくさんの人で混雑しています。

翼 お父さん 搭乗口は22番だよな。

お父さんは携帯端末を見ながら言いました。

父 いや、33番に変更になっているよ。

*携帯端末への情報表示

空港での音声放送の内容を携帯端末にも表示させることができます。搭乗口の変更などの変更情報案内に加え、搭乗遅れの防止に役立てたり、旅客の呼び出しに利用することもできます。

翼 いっこの間にそんな携帯端末を…
父 博士からのプレゼントだよ。翼の分もあるぞ。さあ、さつさとチェックインしよう。

お父さんはなんと手ぶらでした。手ぶら旅行のシステムを利用したのです。

父 翼、おごつてな

著作権の関係上、表示できません。